

(別紙3)

岩手県における効果的な捕獲に係る新技術の地域実証評価報告
(効果的捕獲促進事業)

1 対象指定管理鳥獣の種類、技術名、実証地域及び時期

指定管理鳥獣名	ニホンジカ、イノシシ
技術名	捕獲通知システムを活用したくくりわなによる捕獲
実証地域	遠野市(附馬牛地区、上郷地区)
実証時期	令和5年8月～令和5年10月

注：実証地域の位置が分かる地図を添付すること。

2 現状の指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲の状況及び課題等

シカ及びイノシシによる農林業被害や自然植生被害が拡大しているが、捕獲の担い手は減少や高齢化が進んでおり、捕獲の効率化(見回り作業の省力化等)を図る必要がある。

3 地域実証する技術の概要

わなに接続した子機のマグネットが外れるとわなの作動を感知し、親機を經由して携帯電話等に捕獲通知のメールを送信するシステムの活用により捕獲労務の省力化について効果検証を行った。

使用機種：ほかパト(株式会社アイエスイー)
親機2台、子機40台

注：実証する技術の写真や内容等の概要が分かる資料を添付すること。

4 具体的な実証の方法・内容

- ①捕獲実証結果
- ・捕獲通知システムとわな(1市2地区)を約3か月間設置し、シカ21頭(イノシシ0頭)を捕獲。
- ②捕獲労務の軽減と捕獲効率の向上
- ・捕獲や錯誤捕獲に対する早期対応の観点から、通常は毎日見回りが必要になるが、約2～3日に1回以下の見回り頻度で捕獲活動を行うことができ、見回りの省力化の効果はあった。
 - ・捕獲地点が事前に明らかなことから、止めさし作業の準備等がスムーズに行えた。

注1：2の課題等を踏まえた技術実証の方法や内容を具体的に記入すること。

注2：事業終了後の評価報告においては、注1を踏まえ、その評価結果を具体的に記入すること。

5 その他

--

注：地域実証に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。

子機設置 マニュアル

～くくり罫編～



1. 立ち木を選ぶ

- 雑木が好ましいです。（販売用の木等は傷をつけないようご注意ください。）
- アンテナに当たる、又は、当たる恐れのある周辺の枝は切って下さい。

2. 子機の操作説明

【短縮動作】（電波チェック）

- ① ボタンを押しながら電源を「切」から「入」にした後、ボタンを離す
- ② ボタンを再度押す
- ③ ランプが1回点灯する
- ④ 10秒程度待機
- ⑤ ブザーとランプが点滅する

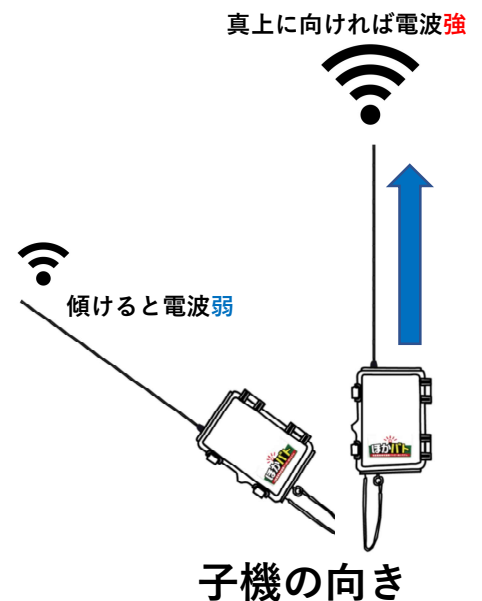
ブザー回数	電波
4	強い
3	普通
2 ※	弱い
1 ※	なし

※電波が「弱い・なし」は通報できない場合があります。

※通常使用はボタンを押さずに電源を入れてください。約1～2分間のGPS測位の後、通常動作可能です。

※万が一、ブザー回数が1回～2回の場合、以下の方法を試してください。

- ・子機をより高く上げる。
- ・アンテナを真上に向けて設置する。



- ⑥ 電波状況が良好（ブザー音4回または3回）⇒ 電源を「入」から「切」にし、次章の【通常動作～通報動作】（GPS測位）へ進む
- 電波状況が悪い（ブザー音2回または1回）⇒ 場所を変えて「1.立ち木を選ぶ」へ戻る

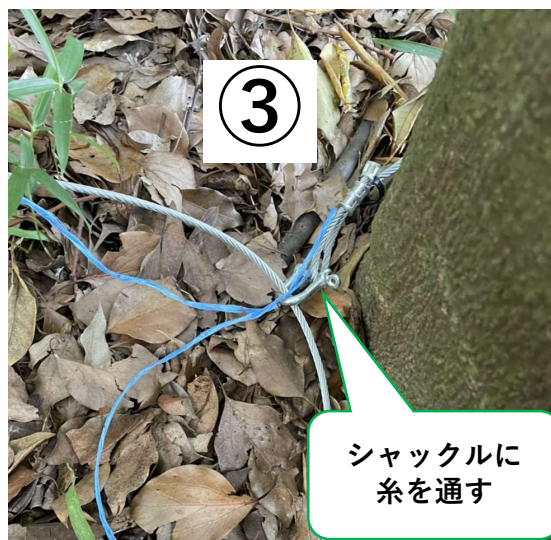
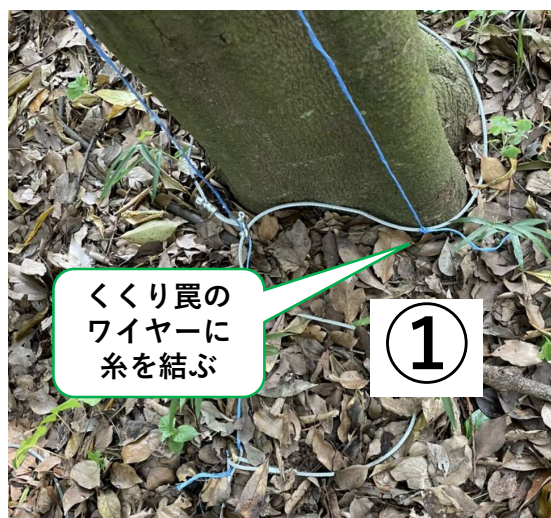
【通常動作～通報動作】（GPS測位）

- ① 電源を「切」から「入」にする
- ② ランプが1～2分程度点滅する⇒GPSを取得しています
- ③ GPS測位チェック（ブザーが鳴る）
- ④ GPS取得OK：ブザーが3秒間鳴る
- GPS取得NG：ブザーが小刻みに鳴る ⇒ ※1)

※1) GPSは屋内や屋根がある場所では、測位しにくいので、アンテナは極力空が見える場所で測位ください。
万が一、GPSが測位しない場合、Webページに子機の位置が表示されません。

- ⑤ 設定完了
- ⑥ ⇒ 「3. くくり罫の設置」へ

3. くくり罫の設置



4. 捕獲後

- 捕獲後は、外れた磁石を再度本体に付けてください。